

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：進学奨励費

## 事業名 公立高等学校等専攻科支援金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 管理経理係 電話番号：058-272-1111 (内 3583)

E-mail：[c17773@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17773@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 893 千円 (前年度予算額：1,012 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	1,012	505	0	0	0	0	0	0	507
要求額	893	446	0	0	0	0	0	0	447
決定額	893	446	0	0	0	0	0	0	447

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

公立高等学校の専攻科に通う生徒が、その授業料に充てるための支援金の支給を受けることにより、教育に係る経済的負担の軽減を図り、もって教育の機会均等に寄与することを目的とする。

### (2) 事業内容

#### 【対象者】

公立高等学校専攻科に通う生徒

#### 【支給額】

- ・住民税非課税世帯の生徒 授業料相当額 (月額 9,900 円)
- ・住民税非課税世帯に準ずる世帯の生徒 授業料相当額×1/2  
(月額 4,950 円)

### (3) 県負担・補助率の考え方

#### 【補助率】 1/2

- ・就学支援金とは別制度の国庫補助事業

(4) 類似事業の有無

- ・ 公立高等学校等就学支援金
- ・ 公立高等学校等学び直し支援金

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
専攻科修学支援金(県立高校)	893	専攻科生徒への就学支援金相当額の支給
合計	893	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

令和2年度から国が予算補助にて創設した施策である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
公立高等学校専攻科に通う生徒に対して、就学支援金相当額を支給する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
受給要件を満たす者に対する支給率	— (H )	— (H )	— (H )	100% (H31)	100% (—)	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
公立高等学校専攻科に通う生徒に対して補助金を支給した。  
令和2年度 5人（見込）

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果  
公立高等学校専攻科における教育に係る経済的負担の軽減を図り、教育の機会均等に寄与している。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)  ○	高等学校の専攻科に通う家庭に支援を行うことにより、教育費負担の軽減並びに教育の機会均等に寄与できるため、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)  ○	公立高等学校専攻科における教育に係る経済的負担の軽減を図り、教育の機会均等に寄与している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)  ○	該当者の把握に努め、制度の周知により申請を促した。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和2年度から始まった制度のため、申請手続き漏れとならないよう周知する必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 卒業まで継続的な支援が必要であり、事業の継続が必要である。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	—
組み合わせる理由 や期待する効果 など	—

